

# 奨励賞

I 新築の建物  
I-1 居住・生活空間系の建物



設計担当者

## 亀崎義仁

カメラトリエ、沖縄県建築士会

一戸建ての住宅 / 沖縄県糸満市

### カメハウス (TRUSST BLOCK lot.07)

構造 | 補強コンクリートブロック造、一部木造

階数 | 地上1階

敷地面積 | 326.64㎡

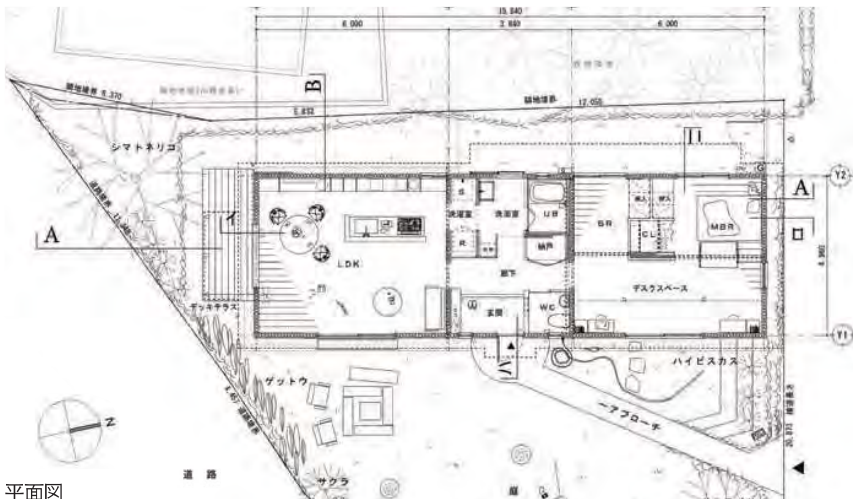
建築面積 | 78.57㎡

延べ面積 | 78.57㎡

竣工 | 令和1年10月17日



1



平面図

- 1 アプローチ側からみた外観
- 2 LDK.奥のデッキテラスへと続く
- 3 デスクスペース

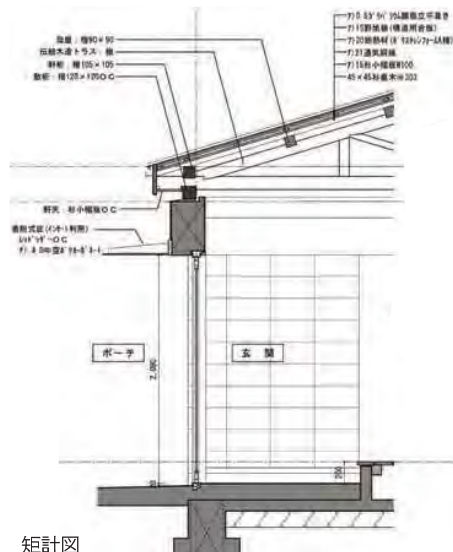
写真1・2…Chotaro Owan  
写真3…Hideaki Higa



2



3



矩計図

## 選評

カメハウスは沖縄在住の建築家である亀崎氏夫妻がかねてより実践してきたコンクリートブロックと木造トラスの組み合わせによる規格型住宅の実例の1つとしてつくられた彼ら自身の住まいである。

沖縄は木材を産出せず、大工の数も少ないことから、奈良の木造トラス専門家に6mのコンテナに入るワンサイズのトラスを大量発注し、現場ではそれを組み上げるだけという方法をとるこ

とでコストを抑え、品質を確保している。従って、どの家も梁間は約3間と常に一定で、桁行の長さは使うコンクリートブロックの数で自由、しかもプランの形は一直線形のみというきわめて単純で明快な規格である。内部空間はコンクリートブロックもトラスもすべて現わして、素朴だが豊かな素材感に満ちている。オープンなプランは使い勝手が良く、天井を張らないので風通しもすこぶる良い。なによりトラスの連続がつくり出

す陰影がとても美しく感じられた。

沖縄の風土に根差し、木材の流通や職人の質などの地域性をも考慮してつくられた生産システムは合理的かつユニークである。外観が武骨すぎるという評も多かったが、台風などの厳しい自然から身を護るカメの甲羅のようでもあり、カメハウスという名称からしてそれもまた納得のいくものであった。

(横内敏人)